

と き：5月21日（月）19:30～21:00

と ころ：自由が丘公民館

参加者：57名

総合計画 第1回 自由が丘地域別タウンミーティング

市民の皆様からのご意見・ご提言とその対応の要旨

第1回 自由が丘地域タウンミーティングでは、地域の皆様からいろいろなお話をいただきありがとうございました。皆様方からいただきましたご意見・ご提言を次の内容に整理いたしましたのでご報告させていただきます。

1. 総合計画に盛り込むよう進めていきます。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **A**
市民の皆様のニーズや、財政状況と調整しながら総合計画に反映する方向で取り組んでいきます
2. 総合計画には、盛り込みません。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **B**
ご意見・ご提言の内容等が総合計画に直接反映できないものや、その他のご質問

1 地域計画、地域ゾーニング

<市民意見・提言>

- ・ 他地域の個性は、どのようなものなのか。1～2万人の人口で「自立した地域づくり」ができるのか。単なる力の分散だけに終わらないか。
- ・ 「住み続けたいまち」になるには、社会インフラ整備が必要だ。アンケートでも日常生活に不便を感じるという意見が多くある。市全体を視野に入れた計画を作るという考えが必要だ。

(行政の考え方：(B) 総合計画は、市全体の計画と地域別計画の2本立てとなっています。地域別計画は、地域完結型のものではなく、地域の魅力を高めるために地域自治を進める目標となるものです。) **担当課：企画政策課**

- ・ 各地域の個性については、各地域計画のキャッチフレーズを、地域づくり計画(案)の7ページで紹介しています。
- ・ 「自立した地域」とは、「地域のことは地域に住む市民自らが考え、地域の未来を描き、そして行動する」という意味です。これまでの計画は、行政が主体的に考えていましたが、今回は、地域別計画づくりをとおして、行政と住民と一緒に地域のことを考えるようにしたいと思います。
- ・ 今までのまちづくりはいわば「金太郎アメ」的でどこも同じでした。しかし地域のニーズはそれぞれ違いますので、今回は行政主導でなく、地域の皆様といっしょに地域の特徴を活かすまちづくりを考えていこうというのが「自立した地域づくり」です。
- ・ 今回初めて、市全体の総合計画の中に、地域固有の課題に対応するために地域計画を作ります。

〈エリア設定〉

- ・ 自由が丘本町に想定してある「ふれあい交流エリア」の場所はどのあたりか。このエリアは、交通量も多く狭くて人が多く集まれる場所ではないと思う。どれぐらいの人が集まることを想定しているのか。
- ・ 地蔵盆は年1回奉賛会が実施されている。宗教活動でもあり自治会は関わっていない。年一回、一晩だけ盆踊りをやっている状況で地域全体のイベントという認識はない。

(行政の考え方：(A) ご提言を踏まえて修正を加えゾーンニングを行います。) **担当課：自由が丘チーム**

- ・ このエリアは、本町会館の付近で毎夏、地蔵盆をやっておられる地域を中心としています。ここで地蔵盆などで地域のふれあいを高めようと考えています。他地区でも同様のイベントをやっておられればご意見をいただきます。人数は、それぞれ20～30人は集まれると思います。交通量までは考えていません。
- ・ 地蔵盆につきましては、自治会は関わっておらず宗教活動的な面もあるとのことで、今回見直しさせていただきました。あさひが丘・本町2丁目・本町3丁目自治会が、自然を生かし、住民の生活に潤いを感じられるように整備していこうとする事業活動をされています。このたび、前回提案しましたふれあい交流エリアを、本町会館を中心とするエリアから、狐池周辺を中心とするエリアに計画修正しました。

- ・ **将来イメージ図といいながら、自由が丘北公園や中自由が丘公園など、現状のものをエリアと言い換えているだけでないか。**

(行政の考え方：(A) 現在ある施設を有意義に守り育ていくこととします。) **担当課：自由が丘チーム**

- ・ エリア設定が現状で既にあるものだという指摘です。自由が丘は、住宅地が6～7割ある中で、他に土地利用を考えられる余地がとても少ないです。
現状の土地利用を基本としてそれぞれの機能を高めていくという考え方です。

2 道路・公園など

<道路>

- ・ 本町会館あたりの道路は、道幅が狭くバスも通れない。その上通学路でさらに危険だ。拡幅や迂回路の計画はないか。

(行政の考え方：(B) 現在、整備計画はありません。) 担当課：道路河川課

- ・ 現場の認識はしていますが、現在、整備の計画はありません。下水道の整備とあわせて側溝整備で対応するなどしたいと思います。

<公園>

- ・ 中自由が丘公園の整備計画は、どのようなものなのか。防災拠点ということだが、空地だけなのか建物を建てる計画があるのか。

(行政の考え方：(A) 広場整備を中心に緑地帯も含めて整備します。) 担当課：美しいまちづくり課

- ・ 自由が丘は、ほとんどが住宅地ですが、計画地の一部だけが未利用地となっています。計画では、南半分を宅地、北半分を防災公園として整備します。今年度に用地を買収し、来年度に工事を行います。整備イメージは広報みき5月号に掲載しています。整備は、避難地を目的とするため広場整備を中心とし、広場の周囲を緑地帯として整備します。

- ・ 「ふれあい安心エリア」に行く道路整備はあるのか。中自由が丘公園を防災拠点として整備するだけで、防災まちづくりが達成したと見えるが、もっと自由が丘内の自主防災組織づくりを進めたり、ネットワークづくりが必要ではないか。また、避難所にいくまでの避難経路の整備も大切だ。

(行政の考え方：(A) まちづくり協議会とともに地域の防災を考えていきます。また、避難所へのアクセスも整備していきます。)

担当課：美しいまちづくり課・危機管理課

- ・ 避難所は、今回整備する中自由が丘公園以外に、小・中学校以外に公共施設（自由が丘公民館）など複数あります。地域の防災

もまちづくり協議会といっしょに考えていきたいと思います。

- ・ 中自由が丘公園へのアクセスですが、幹線道路本町緑が丘線の東自由が丘エリアは、水はけのよい舗装、段差解消を進めています。今後、三木山陽病院まで整備を進めます。生活道路はリニューアル時に側溝整備も進める予定です。
- ・ 中自由が丘公園は、自由が丘中央公園等と同様にいざの時の一時避難場所と考えています。
- ・ 自由が丘自主防災組織は、連合組織の活動が北播管内でも評価されています。今後は、さらに各単位自治会の自主防災組織の活動を一緒に考えていきたいと考えています。

・ **自由が丘第10公園が、三木市が多目的広場として活用する計画となったと聞いたが、整備工事の概要を教えてください。**

(行政の考え方：(B) 現在、三木市への移管手続き中です。) **担当課：美しいまちづくり課**

- ・ まず、土地の所有関係の整理をする必要があります。現在、その手続き中ですが三木市への移管手続きが遅れています。今後、計画を具体化させて自治会に説明していきます。

・ **生活道路の整備、県道志染土山線、中自由が丘2丁目の歩道は車道よりも高く危険だがどうなるのか。**

(行政の考え方：(B) 幹線道路は今年度に段差解消します。県道は早急な整備は困難な状況です。) **担当課：道路河川課**

- ・ 中自由が丘を通過している、幹線道路本町緑が丘線は、緑が丘側から順次水はけの良い舗装と同時にバリアフリーの工事に取り組んでいますので、今年度に車道と歩道の段差を解消していきます。
- ・ 県道の件につきましては、山陽病院から市道までの区間で用地買収が完了したところは拡幅事業に取り組んでいただいております。しかしながら、県道神戸三木線まで、神戸電鉄を立体で横断する事業につきましては、狭隘な区間の拡幅整備も要望しておりますが、交通量や費用対効果等において、早急な整備は困難な状況と伺っております。

3 市民活動

<市民活動>

- ・ 「市民協働」について賛成だ。しかし、今日話を聴きに来ていない住民にどのように伝えていくのか。それができれば、自由が丘のまちづくりは進んでいくと思う。旧市街地に比べて自由が丘は、住民とのコンセンサスのとり方が難しいと思う。
- ・ 自由が丘の現況や道路状況から、提案された課題と対策は整合性がとれていると思う。しかし、住民にこれをどのように周知していくのか。広報をしても読まない人がいるし、私も含め区長協議会や自治会でも周知に悩んでいる。

(行政の考え方：(B) 月2回の広報紙を中心に周知広報活動を実施していきます。)

担当課：市民協働課・広報広聴課・企画政策課

- ・ 自由が丘全体で今日来られているのは一部の方であり、テーマに関心のある方しか出席されていません。地域の人に広く周知することを検討しなければならないと思います。広報紙の月2回化は、半数の市民がよくなったと感じており、広報も活用したいと思います。
- ・ 昨年度から広報みきは月2回の発行とし、市民の皆様によく情報をよりタイムリーに提供しています。また、他の周知方法として、市のホームページやFMみっきい、新聞各社への情報提供など様々な広報媒体を利用しています。
- ・ タウンミーティング当日に配付した資料と意見交換会での発言要旨を、市のホームページで公開しています。

- ・ 「地域おこし拠点エリア」の自由が丘公民館は狭くて使いにくいと思う。また、無料化されて利用が増えて予約も難しい状況にある。これで、計画でいう地域の拠点化が達成できるのか。

(行政の考え方：(B) 自由が丘公民館が今後とも地域づくりの拠点としての役割を果たせるものと考えています。)

担当課：生涯学習課

公の施設の減免基準を本年4月から見直しをさせていただき、公民館登録団体、市民活動団体等の使用料は無料になりましたが、

自由が丘公民館の利用者数に大きな変化はなく、一部の特定の曜日、時間帯を除いて、利用予約が難しいということはありません。

公民館は、昭和54年の開館以来約30年が経過し、その間、平成4年に本館の増築に合わせトレーニングルームを設置し、また、最近では、図書室の機能の充実を図るなどし、乳幼児から高齢者まで幅広い地域住民の方々の生涯学習の拠点、地域住民の交流拠点、まちおこしの拠点としてその役目を果たしてまいりました。

現在、「駐車場が狭い」という課題はありますが、市内の9公民館のうち、延べ床面積は中央公民館、緑が丘町公民館に続き、3番目の広さであり、部屋数は最も多く、今後とも地域づくりの拠点としてその役割を充分果たせるものと考えております。

4 その他

<道路工事>

- ・ 公共工事の施工における現場管理が徹底できていない。東自由が丘3丁目で下水工事が進んでいるが、トンネル契約で市外業者の施工をしているのか。工事看板はないし現場代理人は不在など、現場管理が徹底できていない。やりたい放題に見える。工事前に住民に対して現場説明をすとか、こまめに工事情報を流してほしいと思う。

(行政の考え方：(B)市が発注する工事は、請負業者の現場代理人を常駐させ、事業説明等必要事項は事前に自治会長を通じて住民の方へ周知徹底していきます。) **担当課：道路河川課・下水道課**

- ・ 現在、自由が丘全体でガス・下水工事を進めています。工事期間中は迷惑をかけています。施工にあたっては職員があらかじめ集会所などに出向き工事説明をしています。ご指摘のこともありますので、今後は十分に周知していきます。また、三木市の発注工事では、トンネル会社(丸投げ)の受注はありません。施工は市内業者を中心に行なわれています。

(今後の取り組み)

- ・ 現場監督員は、工事箇所を随時パトロールし安全確認等、現場の状況を十分把握しながら現場管理に努めます。

- ・ ご指摘の現場代理人の現場常駐および腕章の着用については、請負業者が決まり次第に指示、指導いたします。
- ・ また、住民への説明についても、自治会長を通じて行なうだけでなく、必要に応じて現場周辺の方々への詳細な工事内容および工程等の説明を行なっていきます。

<市民病院>

- ・ 三木市民病院の医師は、退院を勧めるし、必要な書類を依頼しても作ってくれず不満がある。
- ・ 神戸大学から北播磨圏域の病院の統合が提案されていると聞くが市長は反対しているようだ。広報紙を通じて三木市の病院の考え方を掲載してほしいと思う。

(行政の考え方：(B) 考え方は広報によりご案内します。) **担当課：市民病院・健康福祉部**

- ・ 三木市民病院は、急性期病院として急性期に必要な治療を中心に行っています。そのため病状が安定し慢性的な状態になれば市内の療養型の病院への紹介をさせていただく場合があります。しかし、患者さんへ十分に説明し、納得していただくことが必要ですので、今後、患者さんが誤解されないよう院内での指導を徹底します。また、患者さんから依頼のあった資料の作成についても迅速に発行できるよう職員への周知を図ります。
- ・ 今回、北播磨圏域の5市1町に対して神戸大学から始めて公立病院の統合の話がありました。勤務医不足による厳しい病院経営の現状から地域医療の水準を維持するために全国的に公立病院の統合が課題になっています。神戸大学からは、具体的な提案がなされていませんが、今後、各自治体、県、大学病院でワーキング会議が開催される予定です。この会議で検討される内容や、その中での三木市の考え方は広報などでお知らせしていきます。